福者ホセマリア生誕 100年記念行事紹介

2004/01/20

生誕百年記念活動のスポークスマン を務めるマルタ・ブランカティサ ノ・マンツィ女史はこうコメントし ている。「私たちは平和と友愛の推 進力としての信仰について考察を深 め、人々の間の暴力と分裂要素であ る偏見を打ち破りたいと願っていま す。」ホセマリア・エスクリバーの 教えは「この点で常に人々への呼び かけとなりました。共に生き、共に 働くことを学び、民族や文化的な背 景、宗教的信条、社会階級や政治姿 勢に惑わされないようにと声を上げ ていたからです。こうして、人間の 働きと仕事は一致の掛け橋となり奉 仕の道具になるのです |。

オプス・デイ代表者 エチェバリーア 司教は次のように述べた。こうした 活動の根本的な目的は「多くの人々 が神に近づき、キリスト教的生活の 喜びを見つけることです。オプス・デイ創立者は、イエス・キリストを 伝えることに全力を注ぎ、社会の中

にあって、完全にキリストの弟子であることができることを強調しました。百年記念は、生活を意義付け、喜びで満たすキリスト教のこの真理に呼応したものであるべきです。|

生誕百年は、連帯の世紀に象徴され る出来事であるばかりでなく、オプ ス・デイ創立者の教えを省察するの に相応しい。2001年10月には、ラゴ ス(ナイジェリア)で職業訓練学校 が、福者ホセマリアを記念して開校 された。また、この記念日を機会 に、いくつかの社会事業が2002年中 に始まる。モンコーレ病院付属診療 所(コンゴ)、無料給食施設(ベネ ズエラ、ペタレ市)、社会的に恵ま れない人々を対象とした社会厚生施 設(スペイン、バルセローナ)な ど。

* * * * * * *

2001年10月4日 ホセマリア・エス クリバー生誕百年を記念して、ナイ ジェリアのラゴスで産業技術研究所 (IIT) が開校された。失業率の高い アフリカで青少年の就職を助ける職 業訓練学校である。

2001年12月8日オプス・デイ創立者の生誕地スペイン、バルバストロで福者ホセマリアに捧げられた教会が献堂された。新しい教会は、最近人口が増えた郊外の司牧を目的とする。

2002年1月7日2002年1月7日から11日まで、ローマで「日常生活の偉大さ」をテーマに国際会議が開催される。五大陸から集まる人々が、福者ホセマリアの教えに照らして、教育や家族、発展、平和構築におけるキリスト者の責任について考察を加える。

国際会議の期間中に、福者生誕百年 を記念する切手がイタリアの郵政局 から発行される。また、会議のテー マである「日常生活の偉大さ」を題 するアルベルト・ミケリー二監督の 記録映画が上映される予定。

生誕百年を記念して、すでにいくつかの会議やシンポジウムが開催された。2001年6月28日から7月1日まで、ブエノス・アイレス(アルゼンチン)のアウストラル大学で、2001年9月21日から22日にかけて「より人間的な教育を目指して」をテーマにコスタリカのサンホセで、2001年10月7日にはヘルシンキで「結婚と家族、聖性への道」と題したシンポジウムが行われた。

2002年1月9日福者ホセマリア生誕日前後に世界中の多くの国々で教区司教司式による記念ミサが計画されている。カザフスタンのアルマティ、ベルギーのブリュッセル、ベネズエラのカラカス、ドイツのケルン、ポルトガルのリスボン、アルゼンチンのルハン、ロシアのモスクワ、インドのニューデリー、フラン

スのパリ、ラトビアのリーガ、プエルトリコのサンフアン、オーストリアのシドニー、ポーランドのワン、オーストリアのウイーン、リトアニアのビリニウスなど。司式により、大分ではカテドラルで宮原司教司式により、大阪で宮原教司式により原川教会で、それぞれ記念ミサがたてられる。

日本では福者ホセマリアの伝記「天 と地をつなぐ」が出版された。

2002年1月19日 ラテンアメリカ司 教協議会会長とコロンビアの当局者 により、福者ホセマリアを記念し て、マチェター市に農畜産学校「グ アタンフル」が開校される。

2002年1月21日 パリにある勝利の 聖母大聖堂で福者ホセマリアに関す る展覧会が開始される。展覧会は続いて、エクソンプロバンス、マル セーユ、ボルドー、ストラスブルグ など、フランス各地を巡回する予定。同様の展覧会がマカオ、香港、アビジャン、ロンドン(ウエストミンスター大聖堂)、シカゴ、マドリード、マニラ、メルボルンでも予定されている。

2002年3月5日福者ホセマリアの著作中、もっとも広く読まれている『道』(42カ国語に翻訳され、400万部出版)の校訂版がマドリッドで紹介される。校訂版はペドロ・ロドリーゲス教授。2002年4月には、『道』のグアラニー語版第一版がパラグアイのアスンシオンで発行される。

生誕百年記念日前日、オプス・デイ属 人区長は、歴史学者と神学者を始め とする各分野の専門家からなる、ホ セマリア・エスクリバー・デ・バラ ゲル歴史研究所を設立した。同研究 所は福者ホセマリアとその教えに関 する学問的な研究に資するためである。

2002年初頭、インターネット上で、福者ホセマリアの著作(『道』

『拓』『鍛』『知識の香』『十字架の道行』『聖なるロザリオ』『教会を愛する』)が各国語で検索できるようになる。www.escrivaworks.org.

2002年4月15日 福者ホセマリアは 司祭職に対して深い愛を持っていた が、生存中は司祭の生涯教育に特に 尽力した。現代社会における司祭の 役割について考えるために、各国の 司祭、神学者、有識者が、2002年4 月15日、ファチマに集う。

pdf | から自動的に生成されるドキュメント https://opusdei.org/ja-jp/article/fu-zhe-hosemariasheng-dan-100nian-ji-nian-xing-shi-shao-jie/(2025/11/21)